

Fusyo Collaboration letter



3月12日 No.39 文責 廣田 秀俊

卒業生へ贈る言葉

6年生の旅立ちの日がすぐそこまで迫っています。6年間の小学校生活を立派に過ごし、新しい道に進もうとする皆さんの輝かしい前途を心から祝福したいと思います。

6年生の皆さんはこの春から中学校に進学します。小学校はあと少しで卒業ですが、卒業してもずっと覚えておいてほしいこと、それは「命を大切にする」ということです。

日々の生活において「命を大切にする」ために、何をしたらよいのでしょうか。大事なことは三つあると思っています。



一つ目に大事なことは「人と自分を比較しない」ということです。

多くの友だちとの関わりのなかで、時には人と自分を比べなければならないこともあるのではないのでしょうか。お互いの夢の実現に向けて励まし合い、より高い目標に向けてチャレンジしていくこと、時にはライバルと競争し合うことで、社会を生き抜く力をつけることは、とても大切なことです。けれど、一人一人がそれぞれの個性を持った人間なのであり、一人一人がかけがえのない存在であるということを忘れないで欲しいと思っています。



二つ目に大事なことは「与えられた環境で咲く努力をする」ということです。

附属小学校の地で立派な芽を出したみなさん。これから中学校という今よりももっと広い野原に根を下ろし、才能という芽を育てていくのです。これから、さらに大きく飛躍し、個性豊かな花を咲かせるためには、日々の授業や学校行事などを通してしっかり養分を吸収し、地中に深く根を張っていくことが大切です。困難が大きくとも、きっとそのあとに咲く花は、周りの人を感動させる見事な花となるでしょう。一人一人にその力があることを忘れないでください。



最後に大事なことは「今という時間を大切に生きる」ということです。

例えば、毎日学校で勉強したり、友だちみんなと一緒にグラウンドで遊んだり、家の人と夕ご飯を食べながら会話したり、そんな何気ない日々の生活のくり返し、本当は「当たり前」のことではなく、奇跡にも近い「幸せ」なのだということです。

「命を大切にする」ということは、今という時間を大切にすること、その日その日を精一杯生きるということ。そのことを忘れないでほしいと思います。



中学校生活では、それぞれ自分の得意なところを活かして前に進んでいってください。自分自身の夢を描き、そこに向かって邁進してください。

